

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149820号
(U3149820)

(45) 発行日 平成21年4月16日 (2009. 4. 16)

(24) 登録日 平成21年3月25日 (2009. 3. 25)

(51) Int. Cl.

F 1

A 4 7 J 43/20 (2006. 01)

A 4 7 J 43/20

A 4 7 J 43/28 (2006. 01)

A 4 7 J 43/28

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2009-643 (U2009-643)
(22) 出願日 平成21年1月19日 (2009. 1. 19)(73) 実用新案権者 509039932
森▲崎▼ 一秀
東京都目黒区東山 1-18-2 サニーハイ
ツ東山 305
(72) 考案者 森▲崎▼ 一秀
東京都目黒区東山 1-18-2 サニーハイ
ツ東山 305

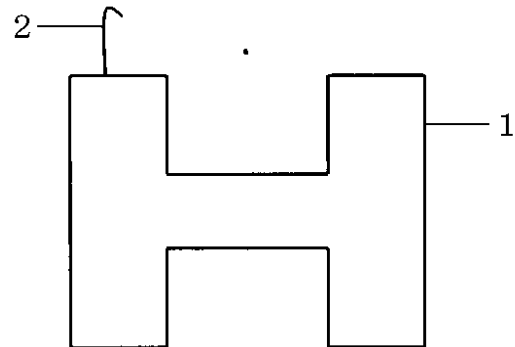
(54) 【考案の名称】 立体的ラテアート形成用型枠

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 立体的な模様や文字を作ることができるラテアート形成用型枠を提供する。

【解決手段】 針金で立体的ラテアート形成用型枠を作るとともに、コーヒー又は紅茶の液体の中からこの型枠を引き上げるための針金の取手をつけることとし、コーヒー又は紅茶にフォームドミルク（空気を混ぜて泡立たせたミルク）を加えたものから立体的ラテアート形成用型枠をゆっくり引き上げることにより、コーヒー又は紅茶の表面上に立体的な模様や文字を短時間かつ容易に作るものとする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

立体的ラテアート（フォームドミルク（空気を混ぜて泡立たせたミルク）を加えたコーヒー又は紅茶の液体の表面上に立体的な模様や文字を作成したもの）を作成するための「取手のついた針金による型枠」

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、立体的ラテアートを作るための型枠に関するものである。

【背景技術】

10

【0002】

ラテアート（フォームドミルク（空気を混ぜて泡立たせたミルク）を加えたコーヒーや紅茶の液体の表面上の泡に模様や文字を描いたもの）については、コーヒー又は紅茶の液体の泡に平面的に模様や文字を手作業で描いていた。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来のラテアートは平面的に模様や文字を描くことはできるものの、立体的な模様や文字を作ることはできなかったが、それを解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

20

【0004】

本考案は、針金で、ラテアートの型枠を作り、それをフォームドミルクを加えたコーヒー又は紅茶の液体部分に沈めた後に、それをゆっくり引き上げることによりコーヒー又は紅茶の上部の泡部分に立体的な文字等のデザインが浮き上がらせることができる。これにより、課題を解決している。

【考案の効果】

【0005】

上述のように針金で作った型枠を作り、使用することにより、短時間でかつ容易に同じ立体的ラテアートを作ることができる。

【考案を実施するための最良の形態】

30

【0006】

型枠の針金は直径 1.2 mm のステンレスピアノ線を使用することにより、立体的ラテアートをよりくっきりとかつ長い期間保つことができ、また、針金を型枠に取り付けることにより、自在に型枠をカプチャーノから引き上げることができる。これにより立体的ラテアートを形成することができる。

【実施例】

【0007】

以下、添付図面に従って一実施例を説明する。

図 1 の 1 のように針金で作りたい立体的ラテアートの型枠を作る。あらかじめ図 2 のように、1 に型枠引き上げ用の針金である 2 を 1 に垂直につけておく。図 3 のコーヒー又は紅茶用のカップにコーヒー又は紅茶とフォームドミルク（空気を混ぜて泡立たせたミルク）を入れ、1 の針金の型枠をコーヒー又は紅茶の泡の上部から液体部分まで沈めた後、それをゆっくりと引き上げる。すると図 4 のような立体的なラテアートがコーヒー又は紅茶の上にくっきりと浮き上がる。

40

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図 1】本考案の立体的ラテアート形成用型枠の一実施例を斜め上からみた図である。

【図 2】本考案の立体的ラテアート形成用型枠の一実施例を横からみた図である。

【図 3】本考案の立体的ラテアート形成用型枠の一実施例のうち型枠をコーヒー又は紅茶に沈める瞬間の図である。

50

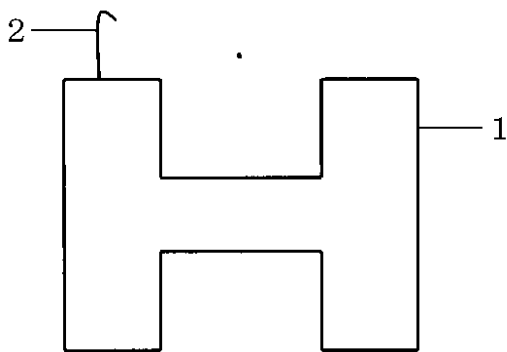
【図 4】 本考案の立体的ラテアート形成用型枠の一実施例のうち型枠をコーヒー又は紅茶から引き抜いた後、できあがった立体的ラテアートの図である。

【符号の説明】

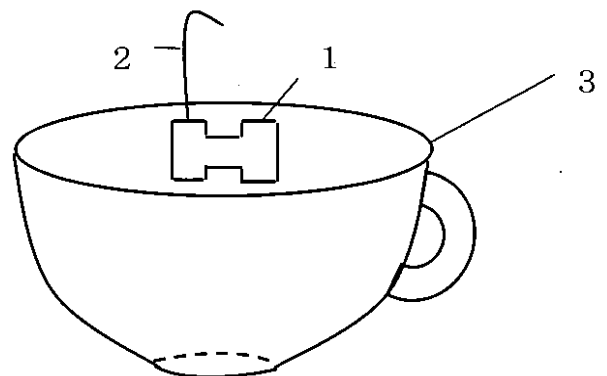
【0009】

1. 立体的ラテアート形成用型枠
2. 立体的ラテアート形成用型枠に取り付ける型枠引き上げ用の針金
3. コーヒー又は紅茶用のカップ
4. 形成された立体的ラテアート

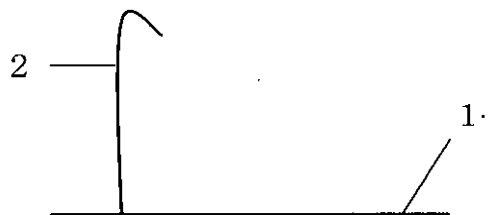
【図 1】



【図 3】



【図 2】



【図 4】

